

東川町の財政を家計にたとえると...

平成19年度の町の予算は39億5,300万円（一般会計）となりましたが、「合計額のケタが大きくて実感がわかない。」、「財政用語が分かりにくい。」という声をよく耳にします。

そこで、家庭の家計と町の財政では仕組みが違いますが、分かりやすく説明するために町の予算額を家計簿に置き換えて資料を作成してみました。

町の会計は、一般会計と特別会計に分けられていますが、ここでは平成19年度一般会計の当初予算を説明したいと思います。

東川町の家計簿		(参考) 昨年度数値	
収入		家族で稼いだお金	318万円
給料（町税・地方交付税）	314万円	366万円	
パート収入（使用料・手数料など）	52万円	家族で稼いだお金	409万円
親からの仕送り（国からの補助金など）	83万円	+ 親からの仕送り	449万円
借金（町債）	44万円		
貯金の解約（繰入金）	3万円		
財産（土地や家）の貸付など（財産収入）	4万円		
合計	500万円		
支出		生活費361万円	330万円
食費（人件費）	111万円	生活費+借金返済	433万円
家族の医療費（乳幼児医療費などの扶助費）	24万円	62万円	100万円
光熱水費、被服費、その他雑費（物件費・補助費など）	164万円	親戚などへの支援	5万円
車や家具の修理代（維持補修費）	5万円		
子供たちへの仕送り（特別会計への繰出金、広域連合への負担）	57万円		
借金の返済（公債費）	72万円		
家の増改築（公営住宅建設、道路整備など）	62万円		
貸付金（貸付金）	5万円		
合計	500万円		

収入の柱は給料の314万円とパートの52万円、それと親からの仕送り83万円です。支出は日々の生活費として361万円、住宅ローンの返済などに72万円、家の増改築費に62万円かかっています。

資料 平成18年度末基金（貯金）と町債（借金）残高見込

基金		町債			
一般会計	単位:百万円 (H17末)	一般会計	単位:百万円 (H17末)		
財政調整基金	305	269	建物（公営住宅除く）道路の整備などに借りたもの		
減債基金	204	203	平成18年度末残高見込	2,648	2,662
公共施設整備基金	379	374	うち国の交付税で補てんされる金額	749	859
ふるさと創生事業基金	110	110	差引残高（町が負担する額）	1,899	1,803
地域振興基金	104	104	財源不足を補うために借りたもの（臨時財政対策債など）		
地域福祉基金	343	343	平成18年度末残高見込	1,415	1,321
写真の町文化基金	121	120	全額が国の交付税で補てん		
未来を拓くみんなの夢基金	200	200	公営住宅の建設のため借りたもの（入居者の負担を基本）		
総合体育館建設基金	16	16	平成18年度末残高見込	1,451	1,368
小計	1,782	1,739	特別会計		
土地開発基金	154	168	簡易水道事業分	567	544
備荒資金	76	75	下水道事業分	999	940
一般会計合計	2,012	1,982	診療所分	560	583
特別会計			うち国の交付税で補てんされる金額	976	956
公共下水、診療所	39	86	差引残高（町と受益者の負担額）	1,150	1,111